

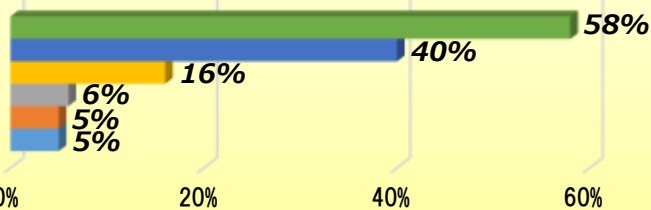
認知症になっても安心して住み続けられる地域づくりを進めています！

熊本西高等学校に 3 5 6 名の認知症サポーターが誕生しました！（11 月 6 日～16 日）

教室で職員が寸劇をしました！

受講後のアンケート結果

Q: 認知症サポーターとして、今後、どのようなことをしたいですか？（複数回答可）



- 養成講座の内容を家族や知人に伝えたい (58%)
- 認知症の人がいたら声かけや見守りをしたい (40%)
- 特に活動するつもりはない (16%)
- 周囲に養成講座の開催を促したい (6%)
- 認知症の知識を継続させるための研修に参加したい (5%)
- その他 (5%)

家庭科の 2 時間の授業の中で「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

1 時間目は、認知症とはどういうものか、認知症の中核症状や行動障害などの具体的な症状や対応の仕方などを学んでもらい、認知症を理解してもらいました。

2 時間目は、認知症の方への対応の仕方を実際に体験してもらいました。悪い事例の動画をもとに、どうしたら良い対応になるのかをグループワークで考えてもらい、発表してもらいました。



ささえりあ三和では、**独自に作成した動画により認知症の行動障害への対応の仕方**を分かりやすく説明しています。今回は 3 種類の動画で行動障害への対応の仕方を説明しています。

受講後の西高生の感想

- ・悪いイメージしかなかったけど、考え方を改めて受け入れることが大事だと思いました。
- ・忘れていても感情は残ることを知りました。 ・ビデオは大変分かりやすかったです。
- ・認知症を支えている家族のサポートが必要だと初めて知りました。
- ・認知症サポーター養成講座をもっとたくさんの人に知ってもらいたいです。
- ・認知症の方がいたら声をかけたいと思います。
- ・私たちにできることはたくさんあると思います。

※西高校生の皆さんアンケートへのご協力ありがとうございました。